

■地方を担う多様な人材の育成・確保＝地方大学の振興

「網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

「東京農業大学、日本体育大学などと連携し、自ら学び「明日をひらくひと」の育成」

- 調査・研究機関の交流促進
- 地域連携センター機能の検討
- 地元に着する人材の確保
- 多種多様な人材の育成・確保

◆東京農業大学生物産業学部と連携した「地方創生交付金」事業（H28～）

- 網走市生涯活躍のまち（CCRC）構築推進モデル事業
- インターシップの活用による就労機会創出と若者定着推進事業
- 地場産品の輸出促進と高付加価値化推進事業

◆オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾（H21～H25）

- 網走市地域再生計画に基づく東京農大生物産業学部の振興
 - ・ 潜在的な地域資源を創造的に活用するリーダー的人材養成計画
 - ・ 地域再生人材創出拠点の形成プログラム（文部科学省事業に採択）
- 事業の計画と成果（5ヶ年）
 - ・ 45名の人材育成（修了生）⇒89名（市民33、管内52、他管内4）
 - ・ 6品以上の商品開発 ⇒45件（商品開発36件、事業化6件）
 - ・ 科学技術振興財団（JST）の評価は「Sランク」



＜事業の発展的継続のためのアプローチ＞

◆地（知）の拠点大学による地方創生推進【第1回会議資料2：P36】

※地方の大学群と、地域の自治体・企業やNPO、民間団体等が共同し、地域産業を自ら生み出す人材など地域を担う人材育成を推進

●「地方にある大学」にも関わらず、 東京都からの申請となるため事業が採択されづらい。

- 「地方にある大学」は単独（学部単位など）で申請できるなど、柔軟な対応を求めたい。

＜申請要件＞全学的な取組としての位置付けを明確化
大学の教育研究と一体となった取組
大学と自治体が組織的・実質的に協力
これまでの地域との連携の実績
自治体からの支援の徹底

- 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（H26年度：不採択）
 - ・ 食農の総合産業アグリ・フードプロデューサー創成プログラム
- 文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（H27年度：不採択）
 - ・ 食農の総合産業化地方創生プログラム



◆オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾（H26～）への市単独の財政支援

- 発展的な事業継続のための支援
 - ・ 東京農大アグリビジネス人材育成事業補助金 400万円（H26）
 - ・ 6次産業化プロデューサー育成事業 400万円（H27）